

2021年12月14日



忘・新年会への参加回数、22.1%が昨年より「増加しそう」 予算は1回当たり平均4,268円で前年比微増の予想 「会社・仕事関係」の忘・新年会の回復は限定的 忘年会・新年会（2021年12月～2022年1月）の動向を調査

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、今年度（2021年12月～2022年1月）の忘年会・新年会（以下、忘・新年会）についての消費者アンケートを実施しました。結果から見てきたコロナ禍での忘・新年会の動向を発表します。

<要約>

POINT1 今年度の忘・新年会への参加回数は昨年度より増加見込みの人が22.1% …… P3-6

▶今年度（2021年12月～2022年1月）の忘・新年会の参加回数の見込みは「昨年より大きく増えそう」「昨年よりやや増えそう」の“増加派”が計22.1%、「昨年より大きく減りそう」「昨年よりやや減りそう」の“減少派”が計1.1%で、増加派が減少派を大きく上回った。昨年度よりは持ち直す予想。

▶外食で行う場合とオンライン開催で行う場合の参加方法別では、「外食」で“増加派”は計19.9%、“減少派”は計1.0%。回復する忘・新年会需要の中心は「オンライン開催」よりも「外食」。

【参考】

昨年度（2020年12月～2021年1月）の忘・新年会の平均参加回数は、忘年会0.21回、新年会0.11回。

POINT2 予算は平均4,268円/回（前年比+34円）。増加するも依然低水準 …… P7

▶今年度の忘・新年会1回当たりの予算は、「5,000円～6,000円未満」（32.1%）が最も多く、「3,000円～4,000円未満」（24.2%）と併せて2つの山がある。

▶今年度の想定予算（平均4,268円）は昨年度に比べると34円上回ったが依然として低水準。

POINT3 「会社・仕事関係」の忘・新年会の予定は22.4%。昨年度から微増にとどまる

…… P8

▶今年度参加する機会がありそうな忘・新年会の相手の割合は、「趣味・サークル関係」以外の相手との忘・新年会の割合は前年度から微増。最も割合が高い相手は、昨年度同様「友人・知人関係」（25.0%）。コロナ禍前の2019年度まで最も割合が高かった「会社・仕事関係」は、今年度は22.4%（前年度20.9%）と昨年度と比べ微増にとどまった。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2021年12月14日

調査概要と回答者プロフィール

- ◎調査名 外食市場調査（2021年10月度）
 ◎調査方法 インターネットによる調査
- 首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査（外食マーケット基礎調査）の中で、昨シーズンの忘年会・新年会についての実績や、今シーズンの意向などを聴取。
- ◎調査対象 首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県）、関西圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県）、東海圏（愛知県、岐阜県、三重県）に住む20～69歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）

■事前調査

- ①調査目的 本調査の協力者を募集するために実施
 ②調査時期 2021年9月17日（金）～2021年9月30日（木）
 ③調査対象 首都圏、関西圏、東海圏に住む20～69歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
 ④調査内容 本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
 ⑤配信数 493,268 件
 ⑥回収数 33,493 件
 ⑦本調査対象者数 16,137 件

- ◆本調査対象者の割付について
- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付を行って回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分（首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分）＝250セルについて、平成30年人口推計（総務省）に基づき割付を行った。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

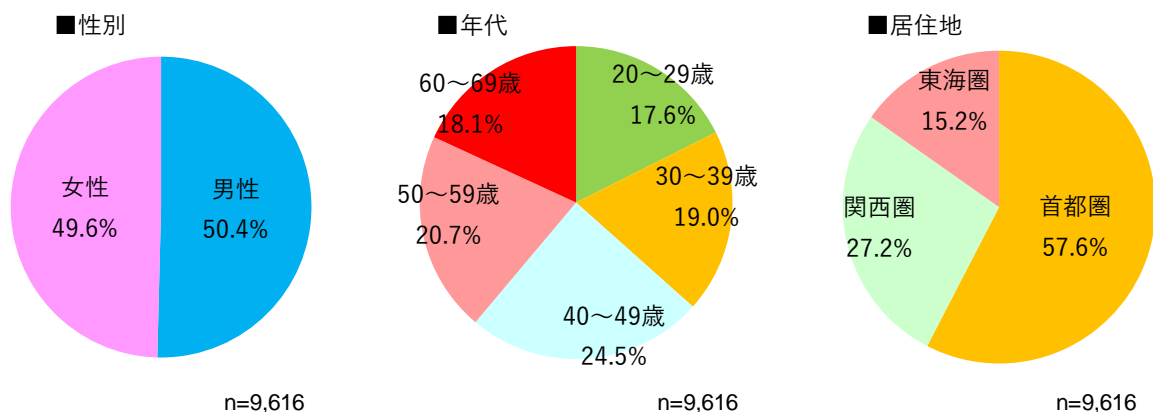
■本調査

- ①調査方法 ・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
 ②調査期間 2021年11月1日（月）～2021年11月8日（月）
 ③配信数 12,103 件
 ④回収数 9,714 件 （回収率 80.3 %）
 ⑤有効回答数 9,616 件 （首都圏 4,842 件、関西圏 2,549 件、東海圏 2,225 件）

※回収された票のうち、自由回答コメントから、趣旨に合わないと判断された票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
- ・本調査結果は、平成30年人口推計（総務省）における割付（性年代別10区分×地域別25区分＝250セル）別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計を行っている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
 3圏域・計 9,616 件（首都圏 5,539 件、関西圏 2,612 件、東海圏 1,466 件）

◆回答者プロフィール（ウェイトバック後）

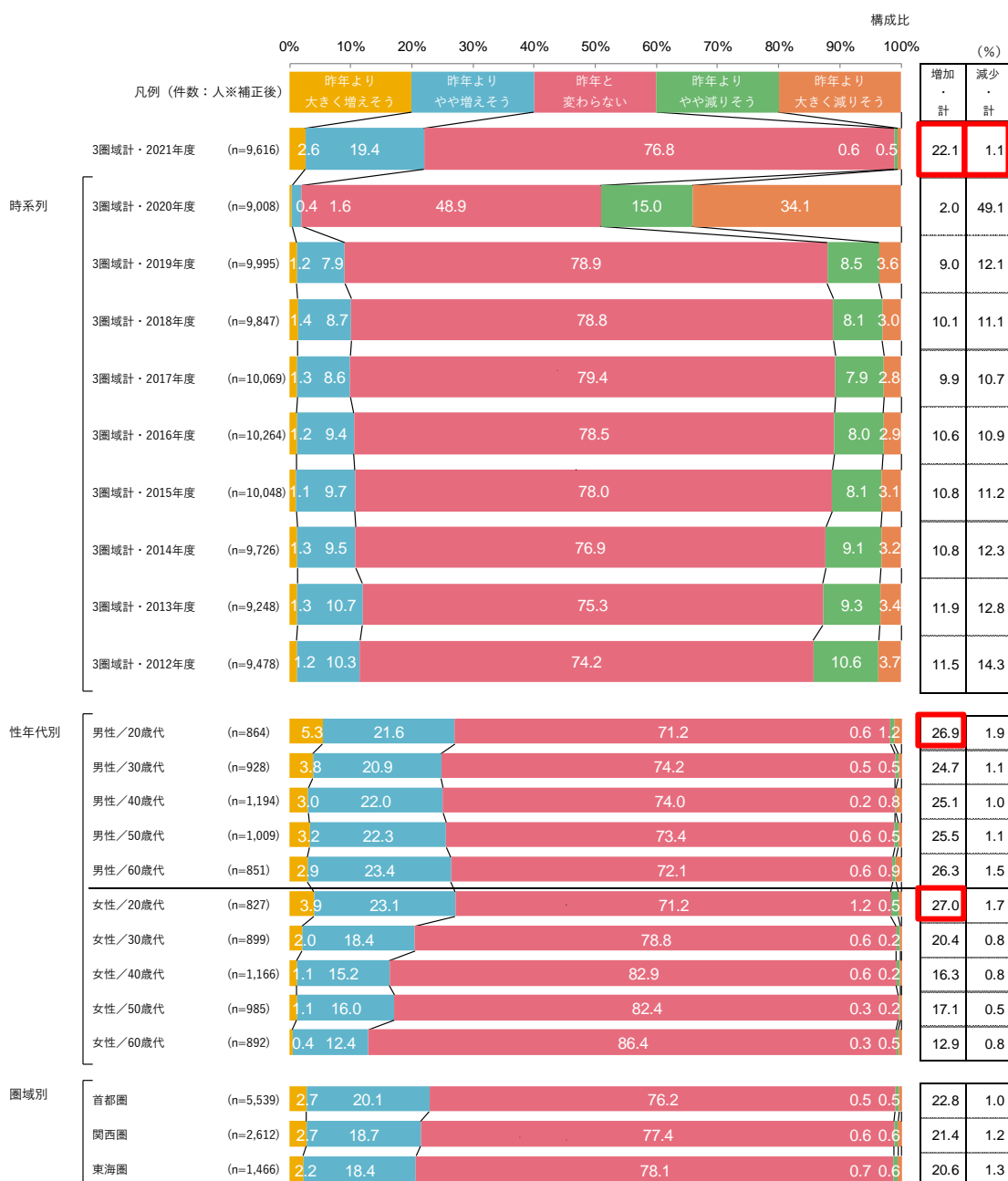


2021年12月14日

1. 今年度の忘・新年会への参加回数は昨年度より増加見込みの人が22.1%

今年度（2021年12月～2022年1月）の忘・新年会への参加回数の見込みは、首都圏・関西圏・東海圏の3圏域計で「昨年と変わらない」との回答が76.8%、「昨年より大きく増えそう」「昨年よりやや増えそう」の“増加派”は計22.1%（前年同調査では2.0%）、「昨年より大きく減りそう」「昨年よりやや減りそう」の“減少派”は計1.1%（前年同調査では49.1%）で、増加派が減少派を大きく上回った。性年代別でみると、増加派は20代女性（27.0%）、次いで20代男性（26.9%）が多い。昨年度のコロナ禍以降初めての忘・新年会シーズンでは、参加実績が忘年会で平均0.21回、新年会で平均0.11回（P6参照）と少なかったが、今年度は昨年度に比べるとやや持ち直す予想になっている。

今年度<2021年12月～2022年1月>の忘・新年会への参加回数の見込み（単一回答）



2021年12月14日

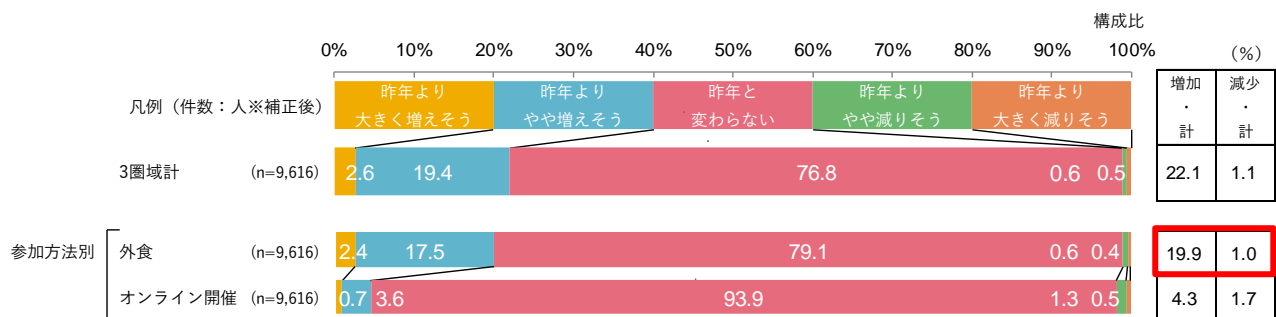
※増加・計：「昨年より大きく増えそう」「昨年よりやや増えそう」のいずれかを回答した人を集計。

※減少・計：「昨年より大きく減りそう」「昨年よりやや減りそう」のいずれかを回答した人を集計。

2. 外食での開催も回復傾向か

今年度の忘・新年会への参加回数見込みについて、外食で行う場合とオンライン開催で行う場合の参加方法別に集計した。「外食」では、「昨年より大きく増えそう」「昨年よりやや増えそう」の“増加派”は計19.9%、「昨年より大きく減りそう」「昨年よりやや減りそう」の“減少派”は計1.0%と、増加派が減少派を大きく上回った。回復する忘・新年会需要の中心は「外食」であることが予想されそうだ。一方、「オンライン開催」についても増加派が減少派の数値を上回っており、コロナ禍で始まったオンラインという参加方法が一定程度定着していると言えそうだ。

今年度（2021～2022年）の忘年会・新年会への参加回数見込み【参加方法別比較】（全体／単一回答）



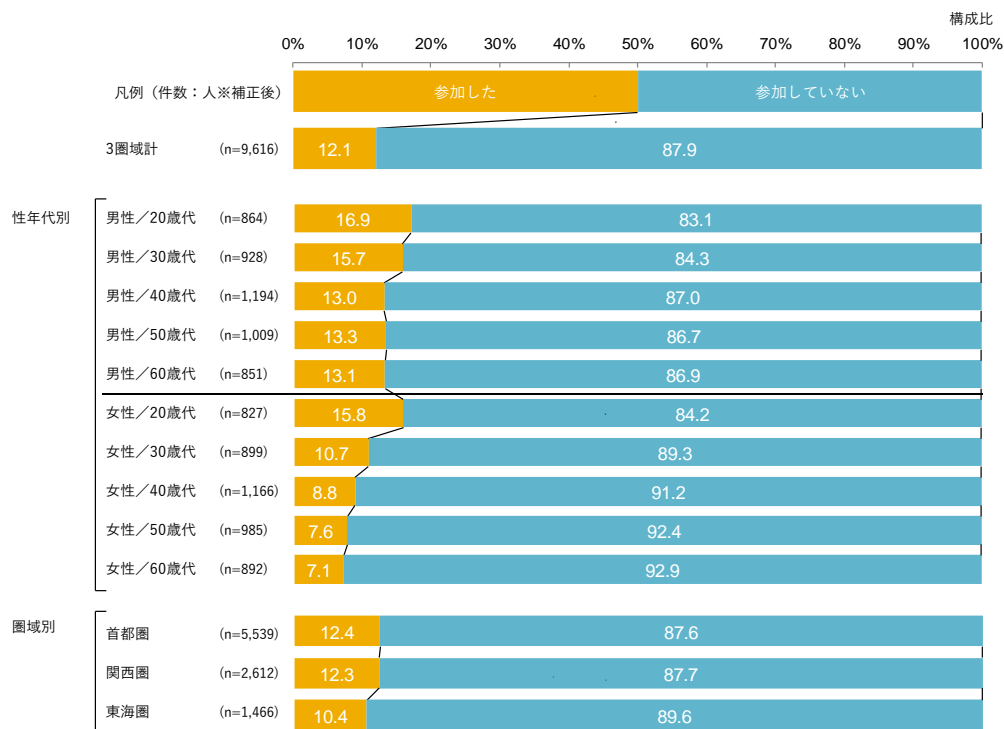
※増加・計：「昨年より大きく増えそう」「昨年よりやや増えそう」のいずれかを回答した人を集計。

※減少・計：「昨年より大きく減りそう」「昨年よりやや減りそう」のいずれかを回答した人を集計。

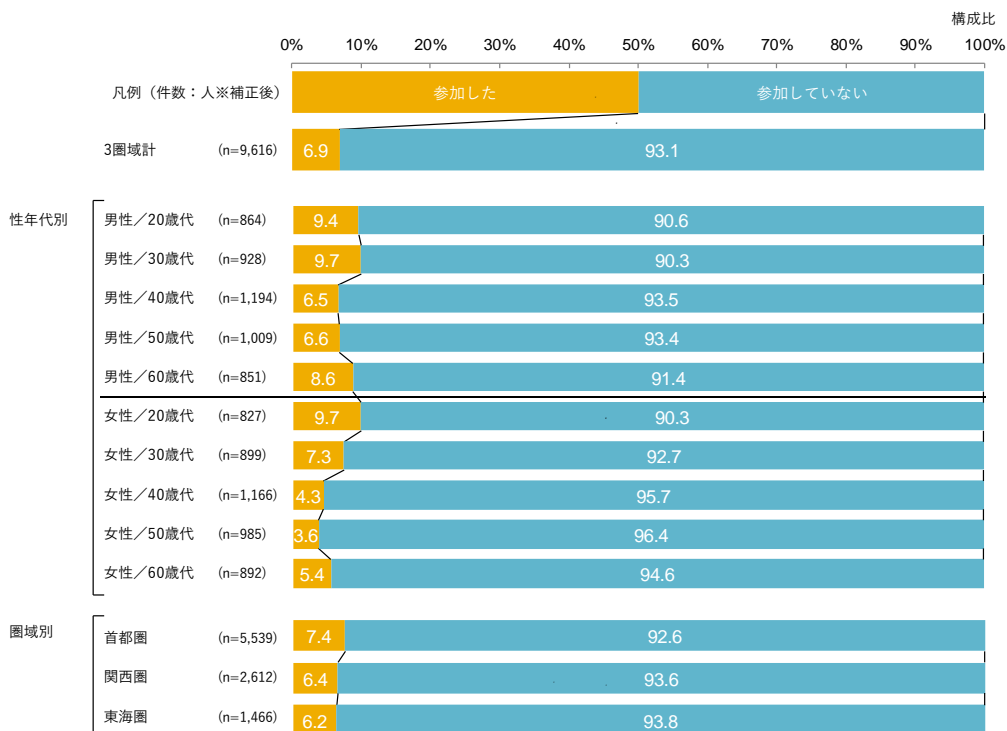
2021年12月14日

【参考】昨年度<2020年12月~2021年1月>の忘・新年会参加有無

■昨年度<2020年12月>の忘年会への参加有無（単一回答）



■昨年度<2021年1月>の新年会への参加有無（単一回答）



※今回(2021年度)調査で聴取。

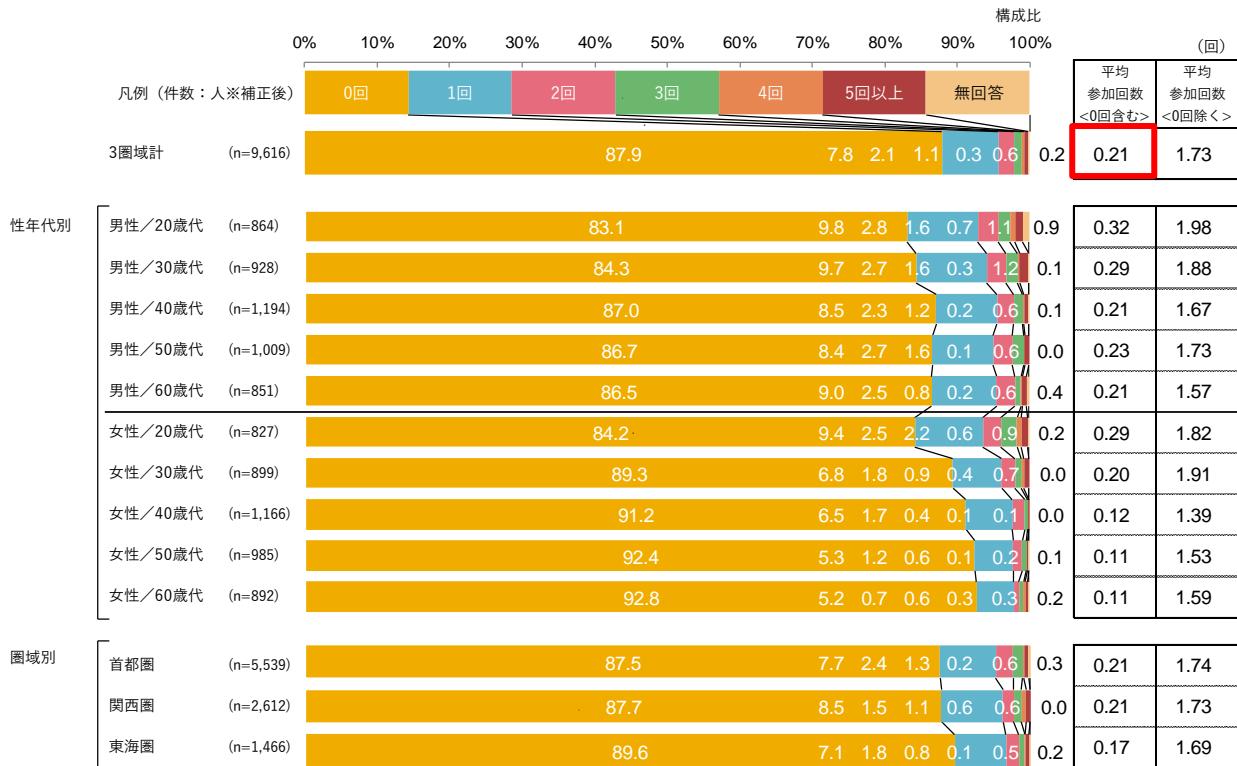
参加した:「2020年12月上旬」～「2021年1月下旬」のいずれかで1回以上と回答した人を集計。

参加していない:「2020年12月上旬」～「2021年1月下旬」で0回と回答した人を集計。

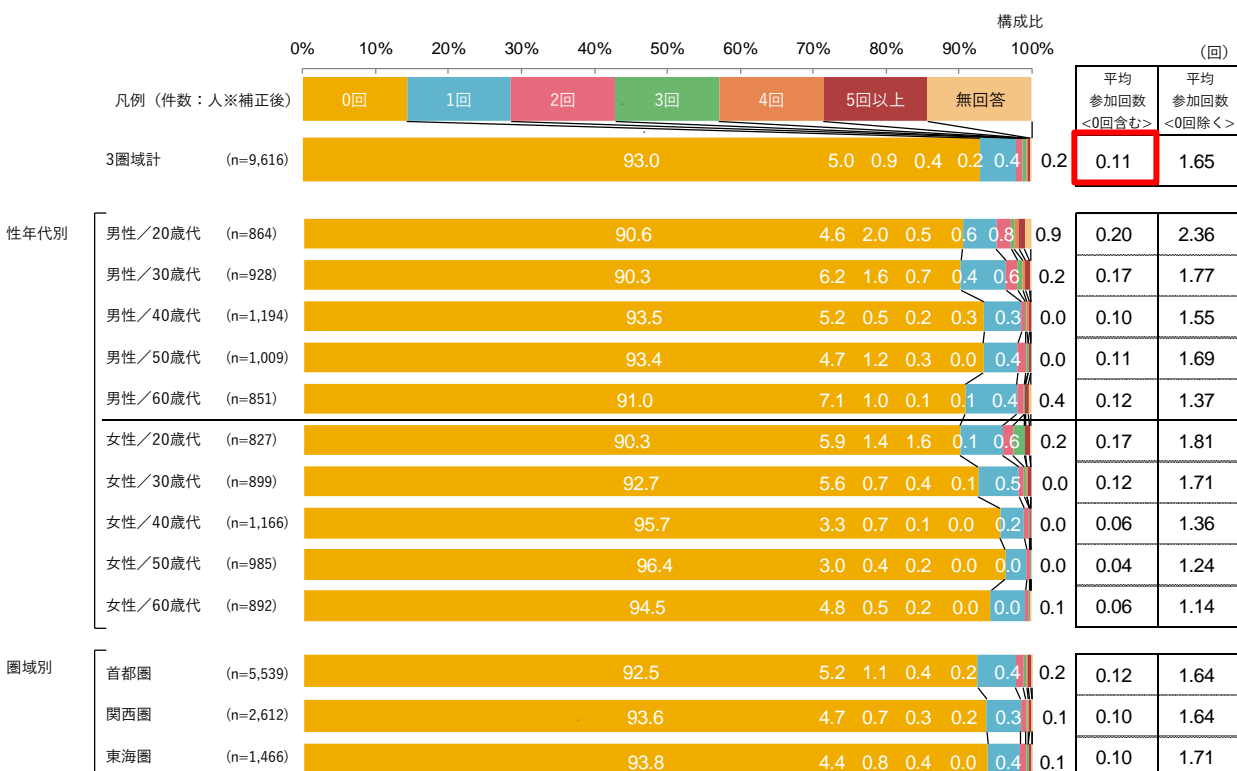
2021年 12月 14日

【参考】昨年度<2020年12月~2021年1月>の忘・新年会参加回数

■昨年度<2020年12月>の忘年会への参加回数（実数回答）



■昨年度<2021年1月>の新年会への参加回数（実数回答）



2021年 12月 14日

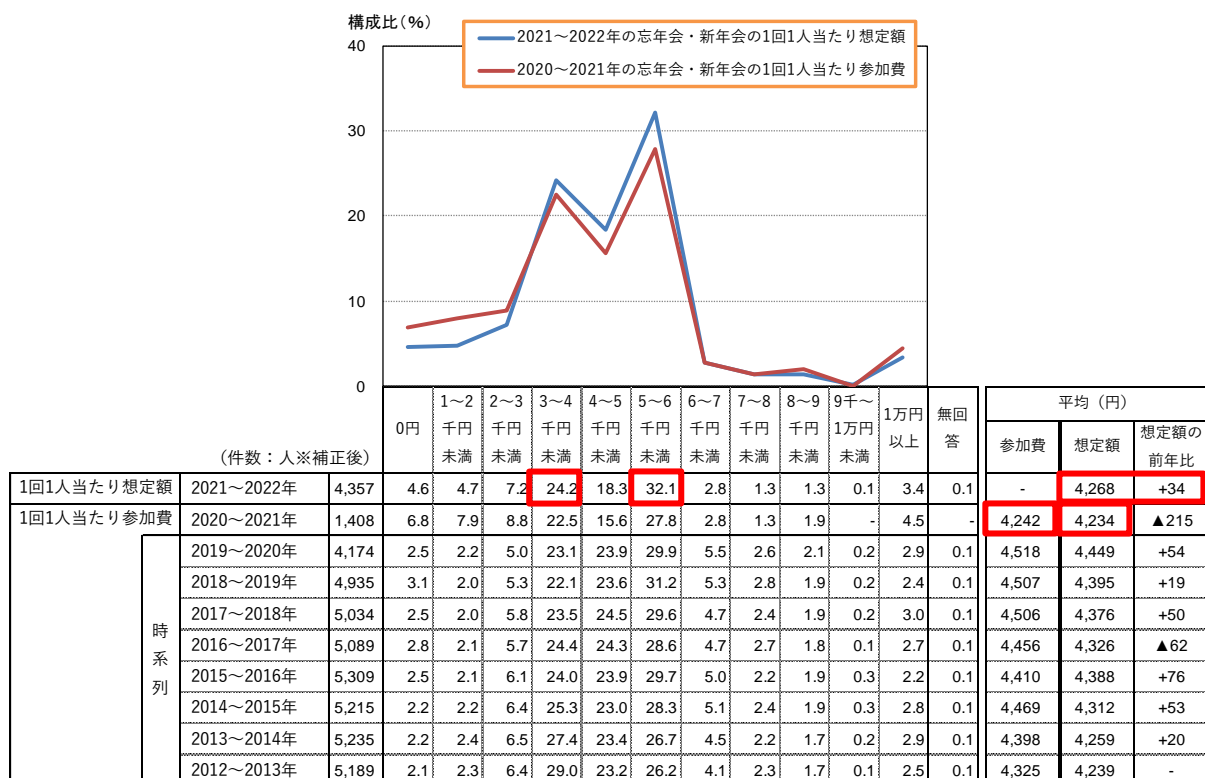
※今回(2021年度)調査で聴取。

※「平均参加回数」は、上下0.1%の範囲のデータを無効回答として集計している。

3. 忘・新年会予算（1回当たり）の想定は4,268円（前年比+34円）と増加も低水準にとどまる

忘・新年会の予算について、昨年度実際に使った金額と今年度の想定予算（想定額）を聞いた。想定予算では、1回当たり「5,000円～6,000円未満」（32.1%）が最も多く、「3,000円～4,000円未満」（24.2%）と併せて2つの山がある例年通りのグラフの形となっている。コロナ禍で迎えた昨年度の忘・新年会では、想定予算（平均4,234円）、実際の参加費（平均4,242円）ともに2012年の調査開始以来の最低額となったが、今年度の想定予算（平均4,268円）は昨年度に比べると34円上回った。今年度の想定予算はコロナ禍となり厳しかった昨年度に比べると、回復傾向にはあるものの、過去10回の調査の中では7番目の低い額であり、2012～2013年と2013～2014年は消費税が5%だった時代であることを考えると、いまだ低水準であると言える。本格的な回復にはまだ時間を要すると思われる。

忘・新年会の1回当たりの参加費（支出実績）と想定予算（想定額）（2012年度忘・新年会～2021年度忘・新年会、実数回答）※想定額は参加する機会がありそうな人の回答、参加費は参加者の回答



※「1回1人当たり想定額」および「想定額」の平均は、該当年度の調査で聴取したもの。

※「1回1人当たり参加費」および「参加費」の平均は、翌年度の調査で結果を聴取したもの。

※平均は「0円（自分では払わない）」を除いて集計。想定額は「自分で払ってもいい額」として聞いている。参加費は「自分で払ってなくても会にかかった1人当たりの金額」を聞いている。

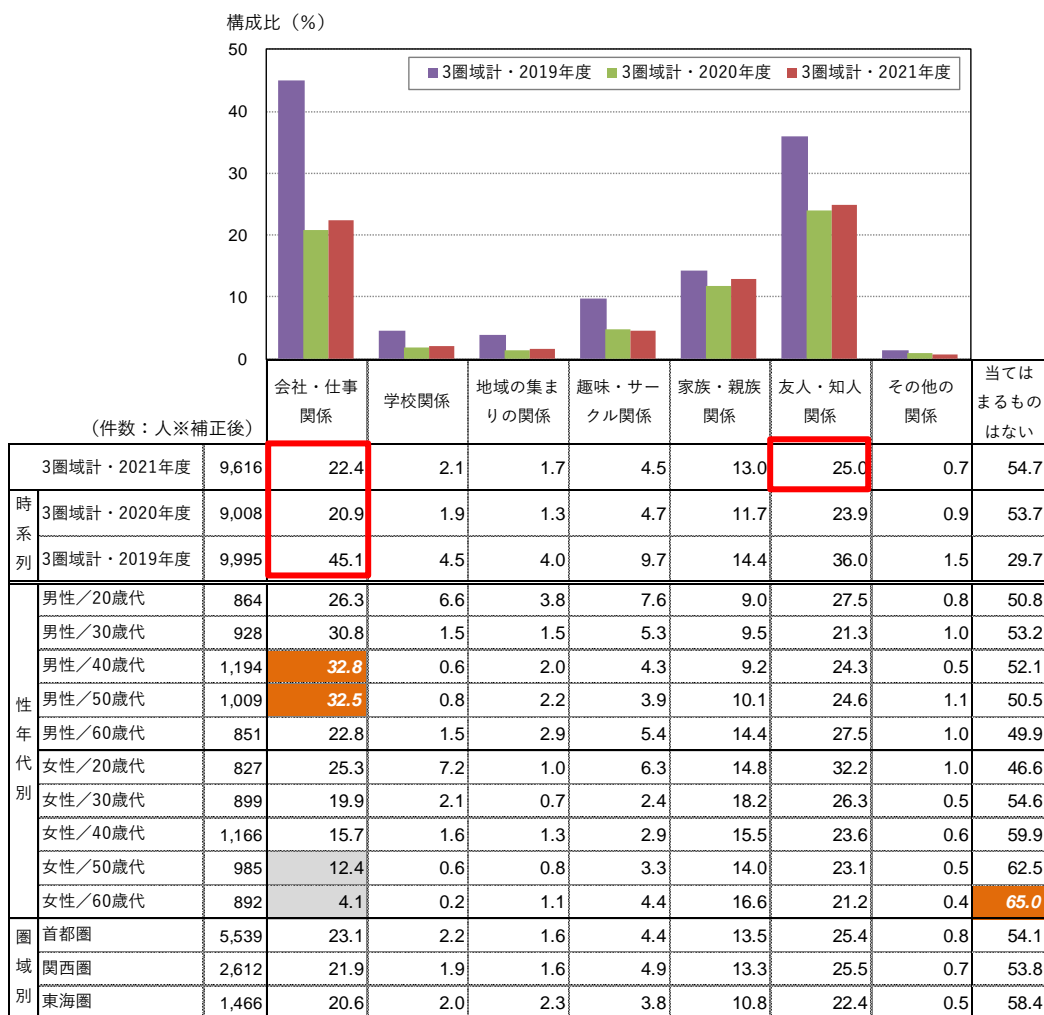
2021年12月14日

※各費用の上下0.1%の範囲のデータを無効回答として集計している。

3. 「会社・仕事関係」の忘・新年会の予定は22.4%。昨年度から微増にとどまる

今年度、参加する機会がありそうな忘・新年会の相手を聞いた。「趣味・サークル関係」以外の相手との忘・新年会は、参加する機会がありそうとの回答の割合が前年度から微増している。最も割合が高かった相手は、昨年度同様「友人・知人関係」(25.0%)であった。コロナ禍前の2019年度には最も割合が高かった「会社・仕事関係」(45.1%)については、今年度も22.4%(前年度20.9%)の微増にとどまった。「会社・仕事関係」は、2019年度以前が高い割合であったため、実施機会の回復について飲食店の期待が大きいと考えられるが、今年度はまだ回復が限定的になりそうだ。

■参加する機会がありそうな忘・新年会の相手(2019年度～2021年度)(複数回答)



太字 3圏域計より10ポイント以上高い項目
 背景色 3圏域計より10ポイント以上低い項目

※「3圏域計・2020年度」は2020年調査、「3圏域計・2019年度」は2019年調査で聴取したもの。

2021年 12月 14日

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>